

製品名: ビリン-1 (1Y7) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe19796**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン (pH 7.4)、0.15M NaCl、40% グリセロール、0.01% 新タイプ防腐剤 N、および 0.05% 保護タンパク質で供給されます。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:20000,FC 1:10-1:100
分子量	93kDa

抗原情報

遺伝子名	VIL1
別名	VIL; VIL1; Villin1;
遺伝子 ID	7429.0
SwissProt ID	P09327
免疫原	ヒトビリンの合成ペプチド

背景

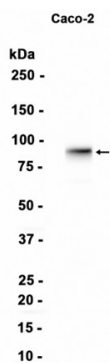
Ca(2+)制御性アクチン結合タンパク質。上皮細胞特異的な Ca(2+)制御性アクチン修飾タンパク質で、微絨毛アクチンフィラメントの

再構成を調節する。アクチン核形成、アクチンフィラメント束の集合、アクチンフィラメントのキャッピングおよび切断に関与する。ホスファチジルイノシトール4,5-ビスリン酸 (PIP2) およびリゾホスファチジン酸 (LPA) と結合し、PIP2 よりも LPA と高い親和性で結合する。LPA との結合はSRC による LPA のリン酸化を促進し、すべてのアクチン修飾活性を阻害する。PIP2 との結合はアクチンキャッピングおよび切断活性を阻害するが、アクチン束形成活性を亢進する。腸管上皮細胞の形態、細胞浸潤、細胞遊走、およびアポトーシスを調節する。消化管上皮において、デキストラン硫酸ナトリウム (DSS) によって誘導されるアポトーシスを防御する。ミトコンドリアの完全性を維持することで細胞死を制御すると考えられる。肝細胞増殖因子 (HGF) 誘導による上皮細胞の運動性、走化性、および創傷修復を促進する。S.flexneri 細胞感染時には、アクチン切断活性によって細菌のアクチンを基盤とした運動性が促進され、播種過程において重要な役割を果たす。

研究分野

シグナル伝達

画像データ



Caco-2 細胞抽出物を Villin-1 (1Y7) ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でウエスタンブロット分析しました。